

1 防災・防犯

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北	濁川地区コミュニティ協議会	住宅用火災警報器設置促進活動
東	中野山小学校区コミュニティ協議会	地域の安全や防災対策事業
東	中野山小学校区コミュニティ協議会	地域の安心安全対策事業
中央	白山校区コミュニティ協議会	白山校区コミュニティ協議会 防災視察研修会
中央	有明台小学校区コミュニティ協議会	防災先進地研修会(長岡市、小千谷市)
江南	曾野木地区地域づくり協議会	平成 27 年度曾野木地区防災訓練
秋葉	新関コミュニティ協議会	防災に強い福祉コミュニティづくりの推進として「新関地域の防災の日」における青色リボンによる安否確認訓練と家族防災会議の実施
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	坂井輪レスキュージュニアチーム養成講座 27
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	防犯ボランティア活動事業
西	青山小学校区コミュニティ協議会	防災訓練
西	小針小学校区コミュニティ協議会	防災訓練実施・津波避難マップ作成

北区 濁川地区コミュニティ協議会

活動名：住宅用火災警報器設置促進活動

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢化と同居家族の減少による火災死亡事故防止。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

全世帯に設置すること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

消防当局の御指導、御支援を得て、全世帯に対する設置状況と未設置世帯に対する機器の安価な提供と、取付け作業の支援。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市北消防署

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

全世帯の68%が回答、設置率はデータ上53%であった。今回153世帯が新しく設置し、設置率は59%に上がる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

アンケートの回収率向上と記載の正確さ及び設置に関する認識度、理解度の向上。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

未設置世帯への設置働きかけを継続する。

東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域の安全や防災対策事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災をきっかけに、地域住民間でも危機感が高まり、防災に対する意識を具体的な行動に移せるまでに高める必要に迫られた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

先進地に学びながらの防災意識の向上、研修した成果を実践する活動、自分たちが主体者なる活動を組織していく。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防災対策先進地等の施策研修、合同防災訓練の実施、ワークショップを取り入れた防災対策研修会を実施する。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中野山小学校、防災士会、東区総務課安心安全係

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

次第に研修会や防災訓練の参加者も増えるようになり、地域の中で、「みんなで自分たちの安全を守る」という意識が少しずつ強くなりました。

また、子どもたちの声かけにより、「さわやか挨拶の輪」が広がってきています。

さらに、巡回中にゴミ拾いをする住民もおり、環境面でもいい影響が出ています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

当初は、一番危険だといわれる下校時の見回りが人員不足で手薄になっていました。重要な時間帯であるため、地域で協力者を募集したところ、多くの住民の方から参加いただくことができました。

防災研修等の会の案内状の内容を工夫し、参加意欲が出るよう配慮した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域の下校パトロールは継続する。挨拶運動を小中学校徒と連携し取り組む。

地震発災等災害を想定した備えを自治会の自主防災会とコミ協の防災会との連携の仕方を具体化しながら地域防災対策を立てていく。



視察研修：亀田郷土地改良区にて



防災訓練
：中野山小学校にて

東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名： 地域の安心安全対策事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミ協発足の平成18年より、子どもの安全を守るためにパトロール隊を編成し地域の安心安全を確保するための活動をしてきた。その中で新たに環境改善を含めた「赤道地下歩道」を改善するという課題が見つかった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

「赤道地下歩道」を明るく安全に通行できる場所にする。さらに、誰もが通行したいと思えるような場所にする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

対策委員会を立ち上げ基本構想を作成した。新潟市と協議し、協働事業とする。
小中学生に原画を描いてもらい、それを拡大パネルにして壁面に貼りつけた。できるだけ多くの児童に参画してもらうようにした。絵図を貼り付ける場所を新潟市から壁面の整備と塗装をもらった。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市（主に東区役所）、中野山小学校、東中野山小学校、南中野山小学校、石山中学校、東石山中学校、東中野山小学校区コミ協、南中野山小学校区コミ協

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地下歩道（東側）が見違えるように明るくきれいになり、地域の人々も楽しく安心して通行できると好評である。

学校や児童生徒の地域への関心が高まり、地域活動（地域清掃活動等）への積極的参加が見られるようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

基本構想を児童生徒に理解してもらうのが大変であった。

基本構想をつくる段階で他地区の調査や対策委員同士の意見集約に大変な労力を要した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

新潟市との協働事業や石山地区の近隣のコミ協との協働できたおかげで、当初の予想より早く、平成26年度・27年度・28年度の3年間で当事業の完成を見ることができた。

今後、この通路（西側も含め）のメンテナンスを地域全体でやっていく。児童生徒には、総合学習等で地域を知る機会として利用してもらう。



地下歩道通学風景



壁面の清掃活動

2016/07/08 15:44

中央区 白山校区コミュニティ協議会

活動名：白山校区コミュニティ協議会 防災視察研修会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

◎世帯相互の連帯や共助の意識が希薄であること。◎防災に関する意識が希薄であること。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

◎防災意識・防災知識の共有を図るとともに減災について考えるきっかけにしたい。
◎地域の連携感や自助・共助意識の向上を図る。
◎避難所運営の問題点を理解する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

◎中越地震被災地 長岡市山古志（防災記念館おらたる）で見学・学習災害規模、共助の様子、全村避難、避難の様子、避難所運営、復興計画、現在の様子などを、語り部「田中仁」氏から講演していただいた。

また、木箒地区の水没家屋の見学を行い、災害の大きさを実感した。さらに帰路に三条水防学習館の見学も行い、三条市の水害と水防について学んだ。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

◎消防団中央方面隊白山分団 ◎社会福祉協議会

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ◎避難所での生活及び運営。
- ◎共助のあり方。
- ◎リーダーの仕事。
- ◎復興の様子などから、防災意識・自助・共助のあり方等を勉強した。
- ◎三条水防学習館では、川の氾濫による被害の大きさを確認。
- ◎普段からの備えの大切さを学んだ。

当コミ協が抱える自治会数や世帯数は大変多く（33 自治会・ほぼ 3000 世帯）隣人の顔を知らない人も少なくない。非常時には混乱が予想される。目標は目標としたが、本音は普段付き合いの少ない地域の人の中で、少なくとも非常時に活動可能な人たち同士が顔と名前を憶えてほしいのが狙いであり、その面では、参加者がほぼ全員参加した反省会を含めて効果があったといえる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ◎コミ協重点事業としていただき、新潟市の地域活動事業補助金の対象としたこと。
- ◎移動するバスの中で新潟地震の DVD を視聴してもらったこと。
- ◎消防団員・民生委員の参加があったこと。
- ◎懇親会を兼ねて反省会を開催したこと。
- ◎山古志地区の被災地をバスでボランティアガイドの説明つきで回ったこと。

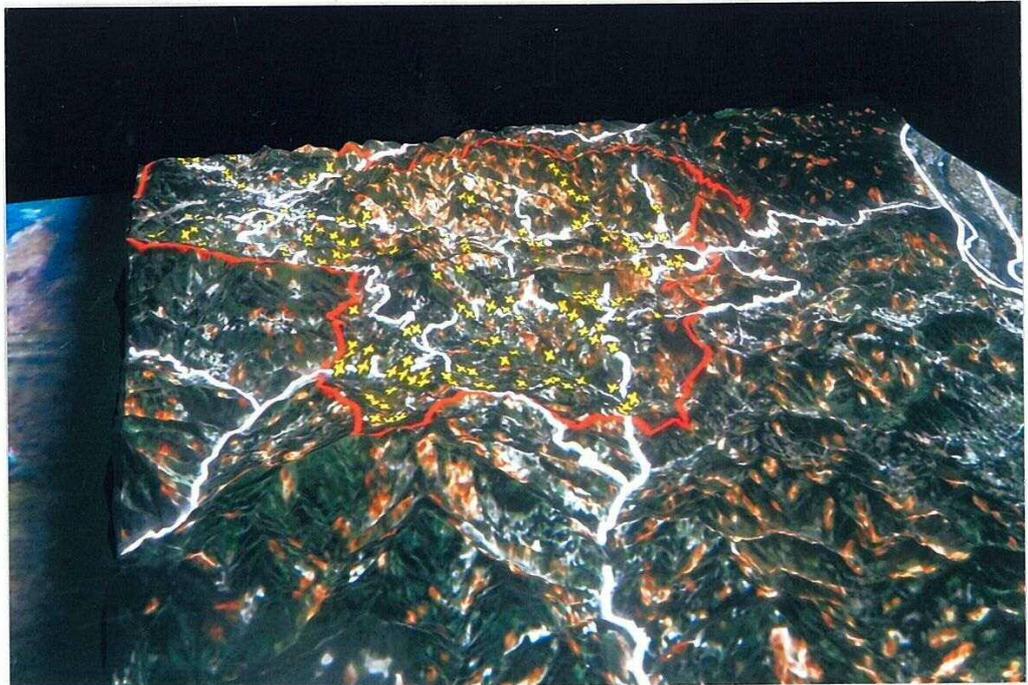
Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当コミ協では、各部会それぞれの目標をもって様々な活動を行っており、徐々に参加者も増えているようであるが、今回の事業の参加者 43 名の平均年齢が 70 歳以上と推定される。他部会の事業も推して知るべしで、高齢者が活動の中心となっている地区である。若いマンション住民にどのように参加してもらおうことができるのか、方法を模索しているが、大変難しい。よい事例があればご教示賜りたい。また、東日本大震災の被害地視察を考えているが、経費・時間等の難問があり、このことについてもご教示いただけるとありがたい。

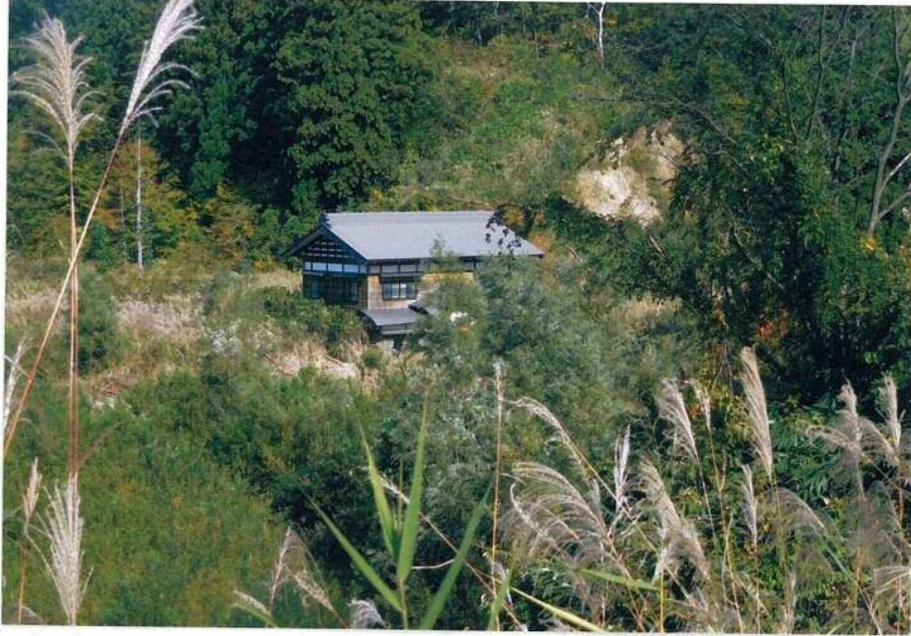
① 熱心に学ぶ参加者



② 山古志地区（旧山古志村）の地震被害
茶色いところが地崩れ，崖崩れの場所



③ 木箆地区で泥流に飲み込まれた家



④ 三条水防学習館で職員の説明を受ける参加者



中央区 有明台小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災先進地研修会（長岡市、小千谷市）

実施日 平成28年3月25日

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

昭和39年の新潟地震、10年前の中越地震などの体験者が少なくなった。平成28年度6月の訓練は、日本海沖地震で3mの巨大津波が襲ってくることを想定し、校区内に津波避難場所へ避難する訓練を行った。次年度は、さらにバージョンアップし「避難所生活体験訓練」を行うことを目的として計画を練っている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

新潟市には、新潟地震のメモリアルホールがない。長岡、小千谷、川口などは、その爪痕をリアルに保存し、後世に活かしている。そこへ、3月公募し20名で出かけた。長岡市は長岡震災アーカイブセンター【きおくみらい】、小千谷市は、おぢや震災ミュージアム【そなえ館】。どこも係員の丁寧な説明があり、有意義な研修ができたと思う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

当初、コミ協の「安全交通部会」と自治町内会長で研修旅行を計画したが、高齢と活動の機敏性、持続性に疑問が湧き、公募することで新人の発掘を行った。女性も6名参加し、女性の視点から「避難所生活」を組み立てることも大事と思った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特別にありません。ただ、研修先の皆様には大変お世話になりました。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

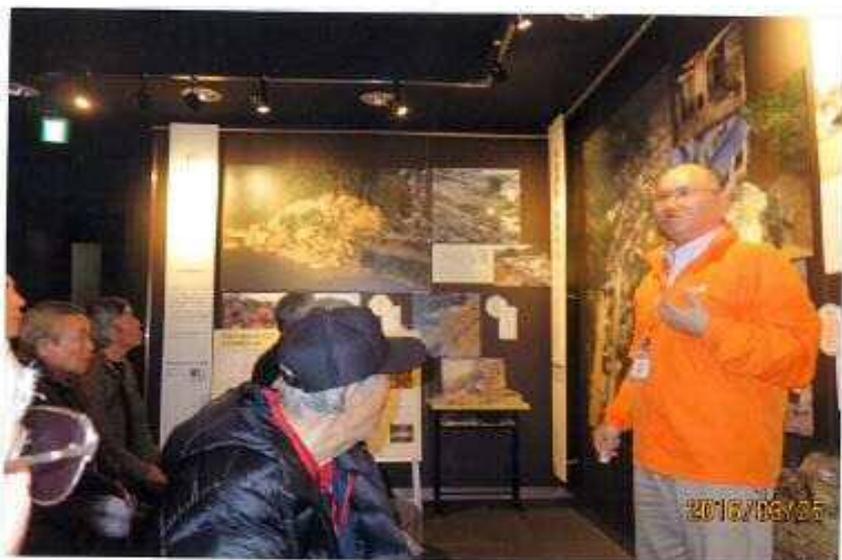
訪問先が中山間地の地震体験で津波被災地ではないので、水の震災としては、三条市の水害の爪痕が参考になった。電気、ガス、水道、トイレのない生活の体験「語り部」は、画像とリンクしてリアルに作成、水の被害のもの凄さの臨場感があってよかった。また、どんなものが役立つかのヒントも明らかにされ、有明台小学校の避難所生活の計画の参考になった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

この研修会に参加した人を中心に、有明台小学校の避難所運営計画を作成したい。トイレの置き場所、洗濯場、食事づくり場、水の調達、医務室、女性専用の大部屋、体育館仕切り、高齢者の横臥室、入浴室、などなど、しっかりと図面をつくる予定。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

有明台には、関南町が海拔ゼロメートル地帯。270世帯が暮らしている。津波によって一人の死亡者も出さないことを目標に、自主防災会活動をしっかり実施する。特に、災害時要援護者への付添人を決める。一人暮らしのお年寄りの日常的なつながり。震災を甘く見ている方へ啓蒙。「釜石の奇跡」「大川小学校の悲劇」を訓練に研鑽する。



江南区 曾野木地区地域づくり協議会

活動名 平成27年度 曾野木地区防災訓練

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

曾野木地区での災害時を想定した避難訓練は、25・26年度と曾野木中学校を避難所として行われた。実際に災害が発生した場合には、曾野木地区では3小中学校が避難所となることから、同日・同時間に3避難所で同様の訓練を実施することとした。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害を想定して、同日・同時間に一連の同じ内容での避難訓練を実施する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

避難訓練の実施に向けての4回の運営委員会（全自治会、3小中学校、消防団）を開催して、実施内容の検討・確認を行った後、3避難所ごとに3グループに分かれてグループごとに細かく打ち合わせし、訓練参加者への周知に努めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

協議会の構成でない3自治会も含めた全自治会の参加による訓練ができた。

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地区住民に実際に災害が発生した場合に、地区には3避難所があることが周知され、最寄りの避難所に避難することを理解していただいた。また自助共助による「自分の身は自分で守る。」ために必要なことを啓発できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

訓練のテーマを「自助共助」として、それをどのように住民に伝え理解してもらうかの方法の検討にかなりの時間を掛けた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

「3避難所が存在すること。最低3日間は自身を守る。」を地区住民に考えていただいたと思うので、これからは避難所の運営を混乱なく行うため、どのようなことを準備すればいいのかを検討することが必要と思われる。

○曾野木中学校避難所



防災会ごとにまとまって避難所までの避難



避難所での点呼

○曾野木小学校避難所



防災グッズの展示



避難所での防災に関する啓発スライドの上映

○東曾野木小学校避難所



避難所で防災会ごとの点呼



避難所での防災に関する啓発スライドの上映

秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：災害に強い福祉コミュニティづくりの推進として
「新関地域の防災の日」における青色リボンによる
安否確認訓練と家族防災会議の実施

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 平成25年に新関地域の防災の日（毎年6月第4日曜日）を制定。地域一斉で防災活動に取り組み、防災意識の向上を図ることにした。
- 平成27年度、全家庭に青色リボンを配布し安否確認訓練及び家族防災会議を位置づけ、新関地域の全家庭が一斉に行動できる方法を取り入れた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- 災害発生時に家族の安否を隣近所や防災担当者に知らせる方法として。
- 防災担当者らによる地域住民の安否確認が手早く確実に実施されるために。
- 家族防災会議を行うことにより防災意識の向上や日頃の備えを図るために。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 自主防災担当者会議を開催し、防災活動の趣旨や目的、方法の理解を図った。
- 青色リボンを全家庭に配布した。
- 防災会議用のチェックカードを作成し全家庭に配布した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

民生委員・消防団・老人クラブ・交通安全協会・育成会

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 安否確認訓練では青色リボンを玄関先に掲示するという単純な作業で、家族の安否が伝達できるので今後継続して取り組む。
- 地域全体で、同日同時間に実施されたので連帯感が深まった。
- 「家族防災会議」の実施により、防災意識の継続高揚が図られた。
- 上記の訓練に合わせ、さらに自治会独自の防災訓練や研修がなされた。
- 地域環境を考慮した自治会独自の防災訓練がやりやすくなった。
- 自治会の役員や防災担当者の意識が高まり、継続することの重要性が認識された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 防災担当者会議の内容や進め方を吟味した。
- 訓練の内容を端的に理解してもらうための家庭用チラシ作成に苦慮した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 青色リボンによる安否確認訓練や家族防災会議の実施は、「防災の日」に合わせた重要訓練内容として位置づけ、今後も継続していきたい。
- 地理的環境など様々な状況等を考慮した自治会ごとの防災マニュアル作成を促し、支援していきたい。(すでに作成した自治会もある。) これにより、役員が交代しても自治会の防災活動が継続しやすくなる。



活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 大規模な災害時に、地域全体で的確な対応ができるよう中学生を対象に応急措置技術を身に付けさせ、大人達の助力となるように養成する。
2. 災害に対応できる人員の増大を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 災害時に備え、中学生を対象とし防災に関するスキルを高める。
2. 中学生の先輩から後輩に防災意識を継続させる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 心肺蘇生・AED 使用訓練
2. 応急手当・搬送訓練
3. 初期消火訓練

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域消防署及び消防団

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 訓練を行うことで緊急時に的確に行動できると思う。
2. 災害時に地域の大人と連携し防災活動ができると思う。
3. 中学生時代に防災意識を高めることで、地域内外に問わず応急対応ができる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 中学生の部活動と重なり、参加人数が少なかった。
2. 次年度以降は、学校と連携を図り参加者を多くする。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害時の緊急対応が重要視される昨今、緊急対応措置の必要性が求められていると思うので、次年度以降も養成講座を継続して行う。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：防犯ボランティア活動事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 安心安全に暮らせる地域環境づくり。
2. 自転車を利用しての通勤通学者の自転車盗難防止
3. 不法侵入盗難事故防止。
4. 特殊詐欺（オレオレ詐欺など）被害防止。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 寺尾交番、西区役所と連携し、地域住民の安心安全な生活を守るため防犯パトロールを行う。
2. 小中学児童が安全に通学できるよう節目節目に防犯パトロールを行う。
3. 特殊詐欺被害防止講習会を行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 寺尾駅、新大駅前自転車盗難防止パトロール。
2. 商業施設における車上狙い盗難防止パトロール。
3. 自転車施錠のチラシ、防犯チラシの配布。
4. 特殊詐欺被害防止講習会の開催。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西警察署

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 前年度に比較し自転車盗難被害を減少させた。
2. のぼり旗、チラシ配布で防犯意識を高めた。
3. 盗難件数を削減した。
4. 特殊詐欺被害防止意識を高めた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 警察署、寺尾駐在と連携を図り、より一層のパトロール体制の強化が必要。
2. 特殊詐欺被害防止を図るため漫談家やマジシャンを招いての講習会を開催した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

本事業は継続的に行うことが重要なことから次年度以降も継続する。



西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・東日本大震災で津波被害が甚大となり、いろいろな災害を想定した機動的で、かつ有事に備えた訓練に地域が一丸となって取り組む必要があると考えています。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・各自治会で「一時避難場所」を設定し、各住民に合った避難行動の実施をすること。
- ・防災意識の向上と地域ぐるみで参加意識の高揚をつくることです。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・災害想定を定め、先ず高台への誘導訓練を各自治会で実施しました。
- ・有明地区は、全自治会集合場所を青山小学校として、訓練を実施しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市 西消防署 青山小学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

9月27日（土）の実施で

- ・有明地区の参加者は472人でした。
- ・浦山地区の参加者は537人で、両会場で1,009人参加の訓練となりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・初期消火を含め体験コースを設置し好評であった。
- ・青山小学校児童からの防災標語募集と優秀作品の表彰を実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・幼児や小学生の参加は父兄同伴で得られやすいが、中学生以上の参加は皆無であり今後の活動にどのように参加してもらうかを検討課題としていきたい。







西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練実施・津波避難マップ作成

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災、熊本地震後、地震災害に関心が深まりどのように対応すべきか、また、小針地域は河川訴状による津波と液状化被害が想定課題である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

避難訓練（地震・津波）の実施と津波避難マップ（西区役所支援）を作成する

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防災訓練等は、防災防犯部会で企画運営を行い、小針小学校の全面的な協力を得た。津波避難マップ作成は新潟市の協力を得ました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市・西区役所・西消防署小針出張所

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災訓練を毎年開催することで防災意識の向上が図られた。また、津波避難マップは平成28年度に作成し各家庭に配布する。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

防災訓練等は自治会の協力を得たこと、また、津波避難マップ作成は各自治会の避難経路及び災害発生時の避難に対する関心が薄いため、情報収集に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防災訓練、防災講演会、防災セミナーの開催を通じて更なる防災意識の向上を図る。

